

## 中海自然再生協議会（第6期、第1回）議事録案

平成29年6月17日（土）、13:30～16:00（16:05終了）

於 鳥取県西部総合事務所15会議室

（参加者名簿 別紙）

第6期協議会の開催に先立ち、第5期の熊谷昌彦会長から、第5期においては松江での全国会議の開催、第Ⅱ期実施計画案の作成など、活動が一層進んだこと、これらを踏まえて事務局のありかた等についても検討してきたこと、次期会長の選定にあたっては、これまでの方式とは異なり、自薦や他薦を問わず事前に募集することにしたことなど報告された。次に事務局から、國井秀伸氏（これまで協議会事務局長で、認定NPO法人自然再生センター副理事長）が次期会長に自薦されたこと、他には期日までに候補推薦はなかったことが報告された。次いで自薦書が読み上げられた後に、拍手で國井氏が第6期会長に承認された。また、第6期の公募委員および専門委員についても、候補者名簿にもとづいて承認された（新規に協議会に加わった公募の個人委員と団体委員については今後の抱負等について発言頂いた）。その後、國井新会長から挨拶があり、第6期の会長代理（および事務局長）は候補者が決まっていないが、第2回協議会までには決めて、報告・承認を得たいとの発言があった。

その後、第Ⅱ期実施計画（第5期において検討されてきた4つの計画）についての経過が國井会長（前事務局長）から、5月20日締め切りで計画案の提出を求めてきたこと、その後、6月6日にアドバイザー会議が開かれ、報告・検討を行ったこと、その上で再度計画案の再検討を求め、この協議会での報告・討論に至ったことが説明された。また、今回は専門家会議の開催が、環境省内の都合により、11月以降になる見通しであることが述べられた。なお、専門家会議は各協議会から出される計画についての可否を決める場所ではなく、推進法にもとづくアドバイスをしてくれる会議であること、第Ⅰ期の際には4つの実施計画を含めて協議会承認の実施計画として9つの計画を提出したことが説明された。この後、再提出された4つの計画案（なお、これらの内容については協議会会員には事前配布され、各自が持参する方式が採られた）についての説明がそれぞれの提案者からあり（カッコ内は提案者）、それぞれについて活発な質疑応答がなされた。

- ① 浚渫窪地の環境修復事業（桑原智之）
- ② 藻刈り事業（渡部敏樹）
- ③ 有用二枚貝（サルボウガイ）復活を目指す事業（川上 豪）
- ④ 中海湖岸域の利・活用プロジェクト（熊谷昌彦）

最後に新会長から、次の協議会は8月下旬～9月中旬頃に開催を予定し、第Ⅱ期計画案については、次期協議会までに前書きをつけるなどの体裁を整え、次期協議会に提出できるようにしたいとの発言があった。